

会議経過報告

名称 厚木愛甲環境施設組合事業懇話会
日時 平成17年10月27日(木)午後2時~午後3時25分
場所 ルリエ本厚木ビル10階 厚木愛甲環境施設組合会議室
出席者 【構成員】8名
【事務局】厚木愛甲環境施設組合事務局職員 5名

【会議概要】

- 1 開 会 厚木愛甲環境施設組合事務局次長
- 2 あいさつ 厚木愛甲環境施設組合事業懇話会会長
- 3 案 件

(1)平成17年度組合事業上半期の執行状況について
資料1により、上半期の執行状況について説明した。

【質疑等】

- 委 員)事前に資料を受け取っているのですが、説明は、もっと明確・簡単にしてほしい。
懇話会は、このように報告を受けるための会なのか。
- 事 務 局)懇話会は、諮問機関ではありませんが、住民の方の色々な意見を組合事業に反映していくために設置しているものです。
- 会 長)PFI手法導入可能性検討調査の関係ですが、どういう組織が行うのですか。
- 事 務 局)これは、委託事業で中間処理施設と最終処分場の施設整備等について民間活力導入が可能かどうか調査したもので、PFI手法とは、民間が事業を請負い、行政が経費を負担するという手法です。メリットとデメリットがありますが最終結論はまだ出ていません。助役会議の段階では組合がこのまま事業を行っていくということになっています。
- 委 員)清川村では、最終処分場建設の委員会に村民が入っているが、厚木市の中間処理施設の方には、市民は入っているのか。
- 事 務 局)厚木市の検討委員会の構成員は、庁内の職員だけです。
- 委 員)前回の懇話会の開催日のすぐ後で、厚木市の中間処理施設候補地の発表があったが、懇話会の席上では説明がなかったが。
- 会 長)2~3日のずれがあったが、記者発表の前だったので公表できなかったということですか。
- 事 務 局)そのとおりです。
- 委 員)厚木市では、中間処理施設に関してこの懇話会のように一般市民を入れた会を作る方向はあるのですか。
- 事 務 局)今のところないようです。ここで、厚木市に設置する中間処理施設の現状について御説明します。厚木市議会の9月定例会に柵沢自治会から陳情が提出され、現在、継続審査となっています。また、下川入地区からも陳情が出てくると聞いています。12月議会での結果如何で、組合としてどうするかということになるかと思えます。柵沢自治会の陳情は中間処理施設の建設の白紙撤回

を求めるもので8項目ありますが、4項目がダイオキシン等の公害問題についてこれはクリアーできる項目ですが、その他の項目としては、地権者が1人であることは行政のエゴであるとか、鷲尾山は市民の憩いの場であり、天然記念物のオオワシの営巣がある、棚沢はそばを作らない村の伝説がある。などです。

会 長) どこでも、ごみ焼却場の問題では悩んでいるようですね。

委 員) 例月出納検査についてですが、組合で監査しているのですか、それとも厚木市の監査事務局が監査しているのですか。また、上半期で指摘事項はありましたか。

事 務 局) 組合内に監査事務局があります。監査委員は2人います。代表監査委員として愛川町の元収入役の方が1人、議会選出委員として現在は愛川町の町会議員の方が1人です。指摘事項はありませんでした。

委 員) 厚木市の中間処理施設建設候補地は1カ所ということだが場所はどこですか。

事 務 局) 棚沢地区の市島で、神奈川工科大学が使用していたグラウンドの敷地です。

(2) 平成16年度構成市町村におけるごみ処理実績について
資料2により、ごみ処理実績について説明した。

【質疑等】

会 長) 資源ごみの回収については、地区別回収と集団回収の二通りの方法があるが先ほどの説明の数字はその合計ですか。

事 務 局) 地区別回収は直接自治会での回収で、愛川町では直接収集車で収集したものも含まれていますが、集団回収はこども会等による回収です。

会 長) 厚木市では子供会が少なくなったので、愛川町と違って自治会の回収が主体となっている。

事 務 局) なお、資源ごみには粗大ごみから資源化されたものも含まれています。

委 員) 粗大ごみが前年より16.5%増えています。その理由は。

事 務 局) 特段の理由は把握していません。

会 長) 厚木市は、紙ごみゼロ運動により相当効果があったようだが、1人1日当たりのごみ量を見ると愛川町や清川村に比べ多いが、生ごみの処理の違いがあるのか。

事 務 局) この中には、家庭系のごみのほか事業系のごみも含まれていますので、量が多くなっています。

会 長) 乾電池の量だが、人口の多い厚木市が愛川町よりずいぶん少ないが、その要因は。

事 務 局) 前年度も厚木市が9トンで愛川町が15トンと同様の結果が出ています。

委 員) 愛川町では資源ごみとして乾電池の日に出している。厚木市とは分類の仕方が違うのでは。

事 務 局) 厚木市では、不燃物として金物類の日には別の袋に入れて出していますが、量の違いについては調べます。

委員) 施設についてですが、中間処理施設の建設候補地が棚沢の神奈川工科大学のグラウンドと新聞に出たので、その時に現地を見に行ったが収集運搬の点から候補地としては良いところだと思った。ただ、中津川の近くなので汚水が川に流れ込むおそれはあると感じた。新聞では、反対運動の記事が出たがその後の状況はどうか。

事務局) 先ほどお話ししたとおり陳情が出ています。汚水処理については、施設の中で循環させていきますので、流すことはないと思いますが、仮に外部に流すとしても処理をして下水へ流すことになります。

委員) そうすると、かなりの施設整備費がかかりますね。

委員) 環境基準には、水以外に空気も含まれているのですか。

事務局) 今の施設はみな、国の基準よりももっと低い安全基準を採用しています。水処理施設を整備していくことになりますが、浄化して循環するのか、下水・河川に流すのかこれから決めてまいります。

会長) ごみ処理施設は、イメージが先行して反対運動になるのですね。

委員) 棚沢は、愛川町に近いが、愛川町の方から何か厚木市に対して話は来ているのですか。

事務局) 厚木市には来ていないようです。

副会長) 愛川町の区長会の中で、候補地について愛川町に説明を求める動きがあります。

事務局) 中間処理施設は厚木市、最終処分場は清川村で候補地を選定し、組合が用地買収と建設を行うことになっていますが、今はあくまでも市町村が候補地を考えているという段階にあります。

委員) ごみ処理広域化ということですので、今回施設を受け持たない愛川町は関係ないということではなく、住民としても広域化の心がけを持つことが必要だと思います。

事務局) 棚沢は、厚木市と愛川町の間に位置していますが、厚木市が棚沢を選定した理由として収集運搬の効率性の考えがあるようです。収集運搬の費用は、ごみ処理経費の約半分を占めています。

会長) 松本市の郊外のごみ処理施設を視察したことがあるが、プールなどの関連施設もあり市民の憩いの場となっていた。ごみ処理施設というイメージはなかった。神経を使い予算をかけて施設整備をしている。それほど公害等のことを心配する必要はないのでは。ああいう施設なら、市民に理解してもらえるのではないか。

委員) 収集運搬に相当の予算がかかるということだが、環境センターのごみ収集車では2人～3人が乗車している。民間では1人乗車。多くの予算がかかるというなら民間委託すれば良いのでは。

事務局) 年間ごみ処理費用が30億円から40億円かかり、収集運搬経費の占める割合が約半分を占めており、その中には人件費が含まれます。

委員) 収集運搬については、組合が行うのか。

- 事務局) 収集運搬は、市町村が行いますが、東京では民間委託しています、
- 委員) 環境センターでは、実際の焼却の管理は民間業者が行っているようだが、
- 事務局) 種間によりますが、焼却の運転は民間業者、クレーンは市の職員がやっています。愛川町では、収集運搬を除き全部委託しています。新しい組合の施設では、全部委託ということも考えられます。
- 会長) 経費の削減の方法はある。収集運搬は市町村の担当だが、このような懇話会の意見を行政にフィードバックしていただきたい。
- 事務局) 皆様のご意見としてお聞きしてまいります。ごみの収集については、今3市町村間で新しい施設でどの範囲までごみを受け入れるか、資源ごみの取り扱いを含めて統一化に向けてつめているところです。後日皆様に報告をし、ご意見をいただきたいと思えます。
- 委員) 今受け入れの話がありましたが、剪定枝については、昔と違って自分の敷地で燃やすなどの処理ができなくなっており、可燃ごみの日に細かくして出している。市町村でもチップ機を貸し出しているが、あまり役に立たない。行政でごみ処理施設に大型の機械を据え付けて、持ち込んだ剪定枝をチップ化できるようにしたらどうか。
- 委員) 剪定枝のチップ化は組合がやるのか、市町村か。
- 事務局) 資源化でしたら市町村になります。
- 委員) 金田の自治会では、中津川の雑木の伐採を相模川整備事業所に働きかけて実施する。重機を入れて行うのだが剪定枝からは8か月で良いたい肥ができると聞いている。ただ、においがするので、発酵施設が必要となる。
- 委員) 最近、生ごみのたい肥化処理容器は、においがするため購入が少なくなり、電動生ごみ処理機の方が普及してきている。愛川町では、公共施設の剪定枝と生きがい事業団で処理した剪定枝を民間処理施設でたい肥化しているが、一般家庭ではなかなか難しいので、行政で大がかりにごみの減量化を行ってほしい。
- 会長) 剪定枝と可燃ごみは、本来は別に出さなければいけないのですね。今後の課題ですね。

(3) その他
特になし

4 閉 会 厚木愛甲環境施設組合事業懇話会副会長